

学校評価システムを活用した具体例

校長

教育目標を達成するための基本方針

- 1 人権尊重の精神と豊かな心の育成

学校経営方針

- 1

- 2

今年度の重点内容を明確に示す。

推進計画

教頭・主幹	1 人権尊重の精神と豊かな心の育成
	(1) 人権教育の充実
	ア 人権教育計画の作成(人権担当)
	イ 教員研修の充実(人権担当)
	(2) 心の教育の充実
	ア 道徳指導計画の作成(道徳担当)
イ 道徳の時間の充実(教務主任)	
ウ 道徳授業地区公開講座の充実(道徳担当)	

教頭・主幹

教育課程と学校経営方針をもとに、教育目標達成のための基本方針ごとに、基本方針を推進する担当組織と取組の内容を明確にする。

課題の整理・改善案の検討

評価結果に基づき、課題を整理し、改善案を立てる。

学校の実態に応じた

組織

担当

担当	実施計画
	1 人権尊重の精神と豊かな心の育成
	(1) 人権教育の充実
人権担当	ア 人権教育全体計画の作成
人権担当	イ 人権教育プログラムの活用に関する計画
	(2) 心の教育の充実
道徳担当	ア 全体計画の作成
学年主任	年間導計画の作成
教務主任	イ 授業時数の管理
道徳担当	道徳資料の整備・活用
	ウ 道徳授業地区公開講座の充実
学年主任	授業テーマ等の計画
教務主任	意見交換会の計画

推進計画に示された取組内容を実施するための計画を各担当が作成する。

学校評価の項目・基準の決定・提示

実施計画等を踏まえ、評価項目・評価基準を決定する。

学校の実態に応じた

組織

学校評価の実施

主幹・教諭

各評価項目、評価基準にしたがって評価する。